

## 「生徒指導の実践上の視点」を踏まえた学級づくりのためのチェックリスト

年 月 日 ( )

学校 年 組 学級担任名

記入者名

視点	No.	手立て（項目）	自己評価				平均値
			4	3	2	1	
自己存在感の感受	1	児童生徒一人一人に、1日1回以上は温かい言葉を掛けている。	4	3	2	1	No.1～4までの平均値 ↓
	2	係活動や当番活動、集会活動等の児童生徒による自発的、自治的な活動により、自己有用感や自己肯定感が高まるような働き掛けをしている。	4	3	2	1	
	3	児童生徒一人一人が活躍できる場や機会を意図的に設けている。	4	3	2	1	
	4	児童生徒の作品や作文等に、その児童生徒が「工夫した点」、「思いを込めた点」などに触れたコメントを書き込んでいる。	4	3	2	1	
共感的な人間関係の育成	5	児童生徒が互いに温かい言葉を掛け合うことができるような場の設定や働き掛けをしている。	4	3	2	1	No.5～8までの平均値 ↓
	6	短学活等で児童生徒が互いのよさに気付いたり、よさを伝え合ったりする場面を設けている。	4	3	2	1	
	7	学級活動において、児童生徒が互いの意見の違いや多様性を認め合い、折り合いを付けて合意形成を図る場面を設けている。	4	3	2	1	
	8	教員自らが率先して児童生徒の名前に敬称を付けて呼んだり、学びの場にふさわしい言葉遣いをしたりしている。	4	3	2	1	
自己決定の場の提供	9	なりたい自分に向けて、行事前や学期始めに、「どのような力を付けるか」などの個人目標を設定したり、行事後や学期の終わりに「どのような力が付いたか」を振り返ったりする機会を設けている。	4	3	2	1	No.9～12までの平均値 ↓
	10	学級活動の話合いを生かして、児童生徒が自分に合った具体的な解決方法や個人目標を意思決定する場面を設けている。	4	3	2	1	
	11	係活動や当番活動において、児童生徒が役割を自覚し、責任をもって行動することができる場を設定している。	4	3	2	1	
	12	児童生徒が自分たちで決めた学級目標や、学級における約束事の実現状況を定期的に振り返る機会を設けている。	4	3	2	1	
安全・安心な風土の醸成	13	学級目標や学級における約束事を児童生徒と一緒に話し合っ決めて、共に実践している。	4	3	2	1	No.13～16までの平均値 ↓
	14	学級において、児童生徒が「自分という存在が大事にされている」、学級が児童生徒にとって「心の居場所になっている」と実感できるような働き掛けをしている。	4	3	2	1	
	15	いじめや暴言、暴力は絶対に許さないことを、学級として宣言し、定期的に振り返っている。	4	3	2	1	
	16	児童生徒の安心感の醸成につながるよう、定期的に教育相談を行ったり、いじめ早期発見のためにアンケート等を行ったりしている。	4	3	2	1	

自己評価 4：よくしている 3：時々している 2：あまりしていない 1：ほとんどしていない